

生活科学学習指導案

廿日市市立大野東小学校 教諭 湯原 玲子

1 対 象 第2学年

2 単元名 「夏だ！いっしょにあそぼうよ」～生きものとなかよし～

3 単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容（7）「動植物の飼育・栽培」及び内容（8）「生活の出来事や交流」を基に構成した。身の回りの生き物に親しみをもち探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子、生命を持っていることや成長していることに気づき、生き物を大切にすることができるようにするとともに、育てた生き物のことを伝える活動を通して、身近な人と楽しくかかわることができるようにすることをねらいとしている。『小学校学習指導要領解説生活編』（平成20年）に示された具体的な視点としては、「カ情報と交流」「キ身近な自然との触れ合い」を取り入れている。

生き物の形態の多様さや生態の面白さ、採集や世話の面白さは児童にとって大きな魅力であると考え。児童が、見つけた生き物の秘密を身近な人に伝えたいという願いをもち、それを実現するために繰り返し「生き物探し探検」に行ったり、生き物にあった世話やすみかを工夫したりすることで、生き物に愛着をもてるようにしたい。また、育てた生き物についての気づきを交流することを通して、身近な人とかかわることの楽しさを実感し、自分自身のよさに気付くことができるようにしたい。

○ 児童観

本学級の児童は、校区に生き物が比較的多く生息しているわりには触れあう機会が少なく、生き物をとったことがない児童が3名、飼ったことがない児童が5名いる。2年生になって、1年生と一緒に田んぼ探検で楽しく遊んだり、プールでヤゴやアメンボを見付けたり触ったりする活動を楽しんだことで、近所で見つけた生き物を学校に持ってきて友達に見せるなど、生き物に対する興味・関心は高まっている。しかし、観察したり飼い方を考えたりして、積極的に世話をしたいこうとする様子はあまり見られない。また、友達の考えと比べたり関係付けたりしながら試行錯誤し、新たな気づきを生み出し、よりよい方法を見つけてさらに活動しようとする児童は少ない。

○ 指導観

指導に当たっては、次の6点の工夫を行う。

- ① 単元の導入では、自然の中でじっくりと生き物を探す時間を保障し、児童がやってみたい活動に熱中し没頭することができるようにする。そのために、児童が安全に活動できる場の設定に配慮し、学習環境を整えておく。また、生き物の健康観察や世話などを通して日常的なかかわりを繰り返しもち、興味・関心を高める。そのことにより、活動したことを伝えたいという思いや願いが高まるよう、意図的・計画的に学習活動を展開する。
- ② 本単元における気づきの想定を行い、何に気付かせどう高めていくかについて見通しを明確にする。そのことで、児童の気づきを丁寧に捉え取り、どの児童からも対象への気づきや自分自身への気づきが生まれるようにする。
- ③ 実際の授業では、各次ごとに伝え合い交流する活動と活動形態を位置付け、相手意識・目的意識をもたせることで双方向の伝え合いができるよう工夫する。その中で、気づきが質的に高まっていくように、「対象とのかかわりがより強くなるような言葉かけ」「生み出した気づきを意識させ、表現させるための言葉かけ」「気づきを仲間とかかわる中で表出させるための言葉かけ」「気づきを次の活動に広げたり生かしたりしていけるような言葉かけ」等、教師の言葉かけを工夫する。
- ④ 第3次「生き物ひみつランド」では、1年生の時に招待してもらった「あそびまつり」のことやその時の気持ちを想起させ、生き物とのかかわりを通して見つけた秘密を、1年生という相手を意識してより楽しく分かりやすく伝えたいという願いを膨らませていきたい。その際、言葉や図、絵、身体表現など多様な表現方法の中から適切な方法を選択し、自分の思いや考えたことを表現できるように、教師の言葉かけを工夫する。
- ⑤ 第4次「またそでたいね」では、「生き物へのかかわり」「1年生や友達とのかかわり」がどのようなものであったかを個人で振り返る活動も大切に、自分自身のよさや友達といることのよさ、伝えたことが人に分かってもらえることの楽しさにも気付くことができるようにする。
- ⑥ この単元をきっかけに、これからも生き物とかかわっていききたいという意欲が高まり、生活の中で生き物を大切にしたいこうとする姿勢が見られるよう、言葉かけを行う。

4 単元の目標

身近にいる生き物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの特徴や変化に関心を持ち、生き物も人間と同じように命があることや成長していることに気づき、生き物に愛着をもったり大切にしたりすることができるようにするとともに、友達や1年生と伝え合う活動を通して、身近な人と楽しくかかわることができるようにする。

5 単元の評価規準

		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
単元の評価規準		身近にいる生き物に関心をもって親しんだり、見つけたひみつなどを身近な人々と伝え合ったりして、楽しく活動しようとしている。	生き物を探したり飼ったりしたことについて考えたり、相手に分かりやすく伝える活動について、工夫したり振り返ったりしたことを、素直に表現している。	生き物の変化や成長の様子や、自分と同じように生命をもっていることに気づき、親しみをもつとともに、身近な人々とかかわることの楽しさやよさに気付いている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①身近な生き物に興味をもち、探したり採集したりしようとしている。	①生き物がいるような場所に目を向けたり、工夫しながら採集したりしている。 ②採集する活動を通して、感じたことや気付いたことを友達に伝えている。	
	2	②育てている生き物に心を寄せ、世話をしたり観察したりして、繰り返ししかかわろうとしている。	③育つ場所、変化や成長について考え、生き物に合ったすみかやえさやりなどの世話を工夫している。 ④発見したひみつを、絵や文で表現している。	①生き物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ②それぞれの生き物に適した世話の仕方があることに気付いている。
	3	③1年生に親しみをもってかかわりながら、楽しく伝え合い、繰り返し交流しようとしている。	⑤相手や目的に応じた伝え方を選び、分かりやすい伝え方の工夫をしている。	③自分の伝えたいことが相手に伝わることの楽しさに気付いている。
	4	④生き物に親しみを感じ、これからも生き物を大切にしながら、かかわっていかようとしている。	⑥生き物とのかかわりを振り返り、自分なりの方法で表現している。	④生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 ⑤生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。

6 「夏だ！ いっしょにあそぼうよ」～生きものとなかよし～における気づきの想定表

対象への気づき			自分自身への気づき
自覚された気づき		認識の萌芽	
一つ一つの気づき	関連付けられた気づき		
【成長や変化に関する気づき】 ・ひらひら泳いでかわいい。 ・壁にくっついて上った。 ・体に模様があった。 ・石の陰に隠れたよ。 ・田んぼにたくさんいた。 ・ちっちゃいのを見つけた。 ・〇は〇を食べるよ。 ・卵が背中にあった。	【成長や変化に関する気づき】 ・〇は〇みたいに動く。 ・同じ生き物なのに違う色のがいる。 ・勢いよくジャンプできるように、吸盤がある。 ・〇になったら、水と陸のあるすみかを作る。 ・前は〇がたくさんいたのに今日は〇が増えた。 ・足が生えていないのと、生えているのがいる。 ・えさを食べて大きくなった。 ・〇は卵から赤ちゃんが生まれて、また育つよ。	【成長や変化に関する気づき】 ・どうしてしっぽがなくなると、陸がいるのかな。 ・生き物にあったすみかがある。 ・セミやカブトムシも大きくなると形が変わっていくよ。 ・生き物も自分たちと同じように成長する。 ・メダカもヘビも卵を産んで、子孫を残す。	【生き物へのかかわり方】 ・そっとすくったら捕まえられる。 ・〇に触れるようになった。 ・世話を頑張ったから大きくなった。 ・生き物が喜ぶすみかを作れたよ。 ・生き物博士になった。 ・生き物に優しくできた。
【生命をもっていることへの気づき】 ・〇は〇を追いかけていた。 ・〇は〇の血を吸っていた。 ・触ると背中が堅いよ。 ・〇は首がどくどくする。	【生命をもっていることへの気づき】 ・〇は生きているものしか食べない。 ・別々に食べれば食べられない。 ・〇は身を守るため背中が堅い。 ・口の下が心臓の速さと同じみたいに動く。 ・世話をしないと生き物は死ぬ。	【生命をもっていることへの気づき】 ・敵から身を守って生きているよ。 ・餌がないとみんな死ぬよ。 ・生き物も人間もみんな命がある。	【人へのかかわり方】 ・友達にとり方を教えてあげた。 ・みんなと一緒に育てるのは楽しい。 ・1年生のことを考えられた。 ・よく分かるように教えた。 ・伝えたことが、分かってもらえるのは楽しい。

7 指導と評価の計画 (12時間)

小単元名 (時数)	主な学習活動	評価規準	評価方法
1 生きもの さがし大 さくせん (3)	[小単元の目標] 身近にいる生き物に関心をもって、生き物を見付けたり採集したりすることができるようにする。		
	○身近にいる生き物について話し合い「生きもの探し探検」に行ってみたいところ、やってみたいことを考える。 ○必要な物や約束などの計画を立て、生き物探し探検に行く ○楽しかったことについて、友達とペア交流し、交流して気付いたことや次にやってみたいことを絵や文でかく。	関①：身近な生き物に興味をもち、探したり採集したりしようとしている。 思①：生き物がいそうな場所に目を向けたり、工夫しながら採集したりしている。 思②：採集する活動を通して、感じたことや気付いたことを友達に伝えている。	・行動観察 ・探検計画書 ・行動観察 ・発言 ・交流の内容 ・探検カード
2 生きもの となかよし (6)	[小単元の目標] 採集した生き物を育てる活動を通して、生き物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付き、それぞれの生き物に合った世話の仕方を工夫することができるようにする。		
	「かってみたいな」 ○図鑑で調べたことなどを基に、グループで協力し合い、えさやすみかを準備する。 ○グループ交流したことをもとに、全体で生き物の飼い方について話し合い、気付いたことを絵や文でかく。 「生きものとなかよし」 ○2回目の「生き物探し探検」に行き、生き物に合わせて工夫しながら飼う。 ○グループで世話をしたり観察したりしながら、見つけたひみつを絵や文でかく。 生き物の健康観察をしたり、休憩時間にひみつを見付けてカードに記入したり、家庭で生き物とかかわったりする。(時間外) 「生きものひみつ新はっけん」 ○とっておきのひみつを全体で交流する。 ○1年生に一番伝えたいひみつを選び、絵や文で表現する。	関②：育てている生き物に心を寄せ、世話をしたり観察したりして繰り返しかかわろうとしている。 思③：育つ場所、変化や成長について考え、生き物に合ったすみかやえさやりなどの世話を工夫している。 思④：発見したとっておきのひみつを、絵や文で表現している。 気①：生き物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 気②：それぞれの生き物に適した世話の仕方があることに気付いている。	・行動観察 ・発言 ・交流の内容 ・行動観察 ・生き物のすみかの変容 ・発見カード ・ワークシート ・発見カード ・ワークシート ・発言 ・ワークシート
3 生きもの ひみつラ ンド (2)	[小単元の目標] 「生き物ランド」で、一番伝えたい生き物のひみつを工夫しながら伝える活動を通して、交流する楽しさが分かり、繰り返し1年生とかかわろうとすることができるようにする。		
	○1年生を招待して「生き物ひみつランド」を開く。 ○1年生とペアになり、伝えたいことがより分かりやすく伝わるような表現方法を考えながら、相手を替え繰り返し伝える。 ○交流した感想を1年生と発表しあい、振り返ったことを絵や文でかく	関③：1年生に親しみをもってかわりながら、楽しく伝え合い、繰り返し交流しようとしている。 思⑤：相手や目的に応じた伝え方を選び、分かりやすい伝え方の工夫をしている。 気③：自分の伝えたいことが相手に伝わることの楽しさに気付いている。	・行動観察 ・振り返りカード ・表現に使うもの ・行動観察 ・行動観察 ・発言 ・振り返りカード

4 またそだ てたいね (1)	[小単元の目標] これまでの活動全体を振り返り、生き物の世話が上手になった自分や、自分たちと同じように生き物も生命をもっていることに気づき、これからも生き物を大切にしながらかわっていくことができるようにする。		
	○これまでのカードや、1年生からのお手紙をもとに、楽しかったことや頑張ったこと、見つけたひみつについて振り返る。 ○育ててきた生き物を今後どうしたいかについて全体で話し合う。 ○育ててきた生き物のことや、「生き物ひみつランド」について感じたことや考えたことを、個人で振り返りカードにかく。	関④：生き物に親しみを感じ、これからは生き物を大切にしながら、かわっていかようとしている。 気⑤：生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 思⑥：生き物とのかかわりを振り返り、自分なりの方法で表現している。 気④：生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。	・行動観察 ・発言 ・手紙 ・作文 ・発言 ・手紙 ・作文 ・発言 ・手紙 ・作文

8 本時の展開（2時間）

(1) 本時の目標

生き物を探したり飼ったりする中で見つけた生き物のひみつを1年生に伝える活動を通して、相手により伝わりやすい表現方法を工夫しながら、楽しく交流することができる。また、交流する活動を通して、生き物に親しみをもち大切にできるようになった自分や身近な人と交流することの楽しさに気付くことができるようにする。

(2) 学習の展開

学習活動	予想される児童の反応（○）と指導者の支援（☆）	評価規準	評価方法
1. 学習のめあてを確認する。	おいでよ2-4「生き物のひみつランド」へ ～1年生によくわかるように、楽しくつたえよう～		
2. 一番伝えたい生き物のひみつを自分の選択した表現方法で1年生に伝える。	☆これまで頑張って生き物を育ててきたことや、沢山の秘密を見つけたことを、学習の流れを示した掲示物などを基に想起する ○1年生が喜んでくれたらいいな。 ○ぼくの見つけたひみつをすごいってってくれるかな。 ○一緒に触ったり、えさやりしたりしたいな。 ☆伝え合う活動が繰り返してできるように、進んで1年生に声をかけペアを見付けるよう促す。 ○もっともっとたくさん1年生に教えてあげたいな。 ○今度はもっと分かりやすく伝えたいな。 ○練習はしていないけど、もっと付け足して説明してみよう。 ☆それぞれのペアの活動を巡回しながら、表現のよさや頑張りが意識できるよう、言葉かけをする。	関③：1年生に親しみをもつてかわりながら、楽しく伝え合い、繰り返し交流しようとしている。 思⑤：相手や目的に応じた伝え方を選び、分かりやすい伝え方の工夫をしている。	・行動観察 ・振り返りカード ・表現に使うもの（絵本・図鑑・クイズ等） ・行動観察
3. 楽しかったことや頑張ったことなど感想を発表する。	☆1年生にも感想を発表してもらい、伝えたいことが分かってもらえることの楽しさが味わえるようにする。 ○1年生が「よくわかった」と言って、喜んでくれてよかったな。 ○他の人を相手にまた「生き物ひみつランド」をしたいな。	気③：自分の伝えたいことが相手に伝わることの楽しさに気付いている。	・行動観察 ・発言 ・振り返りカード
4. 振り返ったことを絵や文でかく。	○また生き物のお話を聞きたかったら、休憩時間に来てもいいよ。 ☆児童と対話をしながら、頑張ったことや楽しかったことを意識させ表現することができるような言葉かけをする。		